

内燃機関パラメータの測定報告書2通・2000年12月～2001年2月

KamAZ・MAZのエンジン： 保有車両2台とも 燃料消費量が低減

ウクルエレクトロマシュ株式会社輸送課・承認：技術部門責任者F.F.ラプツェヴィチ・作業実施者：XADO有限責任会社

ウクライナ、ハルキウ・処理：2000年12月・報告書日付：2001年2月6日

製品

XADO技術®
内燃機関の再生修理、2000年12月実施

試験対象

トラックのエンジン
KamAZ（登録番号03-08 KhA）・
MAZ（登録番号58-84 KhAKh）

文書種別

内燃機関運転パラメータの
測定報告書2通
発注者承認済み、双方押印

車両	登録番号	装置	測定項目	報告書日付
KamAZトラック	03-08 KhA	内燃機関	燃料消費量	2001/02/06
MAZトラック	58-84 KhAKh	内燃機関	燃料消費量	2001/02/06

2台ともウクルエレクトロマシュ株式会社輸送課の車両である。処理は同一サイクルで実施し、処理前後の測定は同一の方法で行った。

主要結果

↑ **75-82 s**

燃料500 gでのエンジン運転時間、6 min 10 s～6 min 30 s → 7 min 25 s～7 min 52 s

燃料500 gでのエンジン運転時間（1000 min⁻¹、40 °C）

車両	処理前	処理後	変化量	報告書記載の経済効果
KamAZ（登録番号 03-08 KhA）	6 min 30 s	7 min 52 s	+1 min 22 s	21.02%
MAZ（登録番号 58-84 KhAKh）	6 min 10 s	7 min 25 s	+1 min 15 s	20.27%

計時は、計量した燃料500 gを用いて1000 min⁻¹、温度40 °Cで実施した。測定方法は両車で同一である。最終列は各報告書の結論に記載された値である。

報告書の結論

両報告書はウクルエレクトロマシュ株式会社の技術部門責任者が承認し、発注者および作業実施者の印が押されている。委員会は、KamAZトラックについて「経済効果は**21.02%**となった」、MAZトラックについて「経済効果は**20.27%**となった」と記録した。両記述の根拠は同一の測定事実である。すなわち、XADO技術®による内燃機関の再生修理後、計量した燃料**500 g**でのエンジン運転時間は、処理前より**1 min 15 s**～**1 min 22 s**長くなった。運転条件は同一の**1000 min⁻¹**、温度も同一の**40 °C**である。言い換えれば、同量の燃料でエンジンがより長く運転しており、この運転条件における時間当たり燃料消費量は低減した。この結果は、2000年12月に同一サイクルで処理したメーカーの異なるトラック2台で再現されており、この点で1回の測定で良好な結果が得られただけの場合とは異なる。

XADO

© XADO。無断転載禁止

本結果は、ウクルエレクトロマシュ株式会社輸送課のKamAZ・MAZトラックのエンジンに関するものである。測定は1000 min⁻¹、温度40 °Cの運転条件で実施したものであり、他の運転条件・使用条件では測定値が異なる場合がある。2001年2月6日付の測定報告書2通の原本は、署名・押印を含む全文を公開しており、ダウンロード可能である。